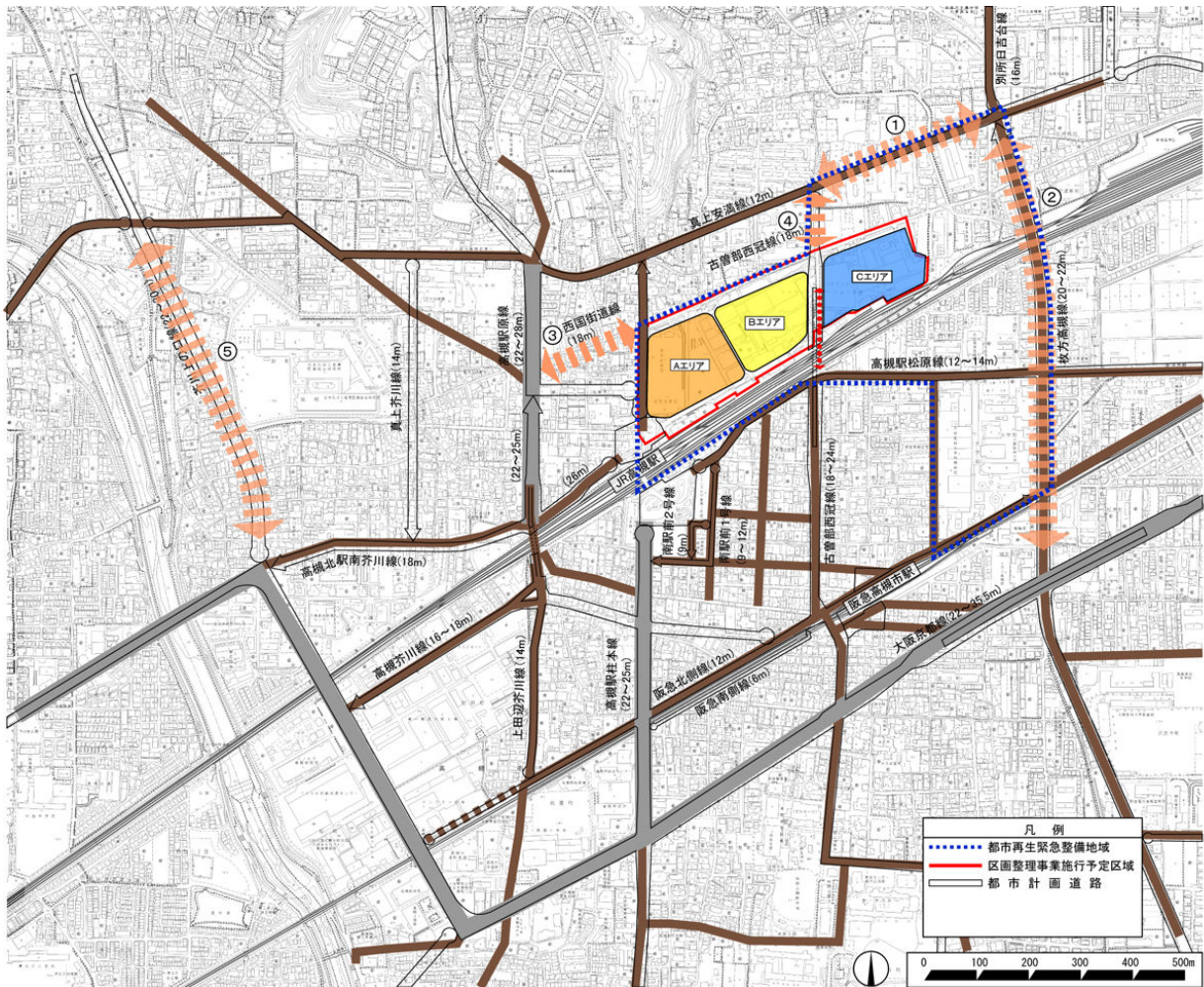


6-4 道路整備検討

(1) 周辺道路の課題



① 真上安満線

- ・現況交通量が1万台程度あり交通負荷が大となっている。さらに古曽部西冠線より西側においては昼神車塚古墳や強固な建物の立地により、拡幅が困難である。
- ・今後、開発に伴い更に交通負荷が増すことから、特に別所交差点から古曽部西冠線までの区間の機能強化が必要である。

② 枚方高槻線

- ・現況交通量が2万台以上あり飽和状態にある。
- ・高槻の中心市街地を取りまく内環状線を担う路線であるとともに、第二名神高速道路や開発に伴い、さらに将来の交通負荷がかかることから機能強化が必要である。

③ 西国街道線

- ・現況は東向き一方通行となっている。
- ・都市再生緊急整備地域の開発事業地区への発生集中量が約12,000台/日と予測されることから、高槻駅前線へのアプローチ道路としての機能強化が必要である。

④ 古曽部西冠線

- ・現況は南向き一方通行となっている。
- ・今後、開発に伴い真上安満線へのアプローチ道路として位置付けられていることから、早期整備が必要とされる路線である。

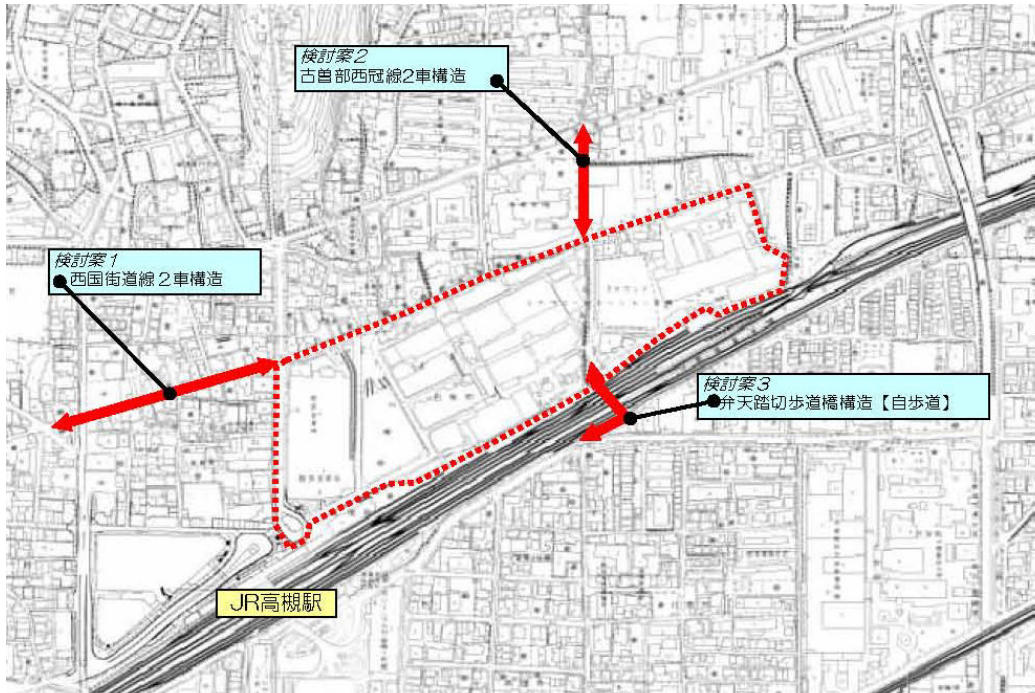
⑤ 芥川上の口線

- ・高槻の中心市街地を取りまく内環状幹線を担う路線であり、市内中心部に通過交通を流入させないためにも、早期整備が望まれる区間である。

(2) 周辺道路整備検討

北東地区開発に関し、交通処理の機能強化が必要と考えられる下記の路線について、整備計画の概要をまとめる。

検討案	路線名	幅員	延長	事業費	備考
検討案 1	西国街道線	W=18.0m	L=205m	約 1.8 億円	2車構造
検討案 2	古曽部西冠線	W=18.0m	L=130m	約 6 億円	2車構造
検討案 3	弁天踏切歩道橋【自歩道】	W=4.0m	L=200m	約 9 億円	



(3) 周辺道路整備スケジュール(案)

路線名		短期 H21 年度末 関大開校				中期 H28 年度末 事業完了							長期 H32 年度末 事業完了後 5 年				備考
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
市 分 施 行	古曽部西冠線	←→															
	西国街道線	←→				←→											
	弁天踏切歩道橋	←→															
そ の 他	枚方高槻線					←■							■→				
	真上安満線					←■							■→				
	芥川上の口線					←■							■→				

- ・早期に整備が求められる路線
⇒弁天踏切歩道橋の整備、古曽部西冠線の拡幅
- ・事業完了を目途に整備する必要がある路線
⇒西国街道線の拡幅
- ・枚方高槻線、真上安満線、芥川上の口線の整備については、大阪府との協議調整が必要である。

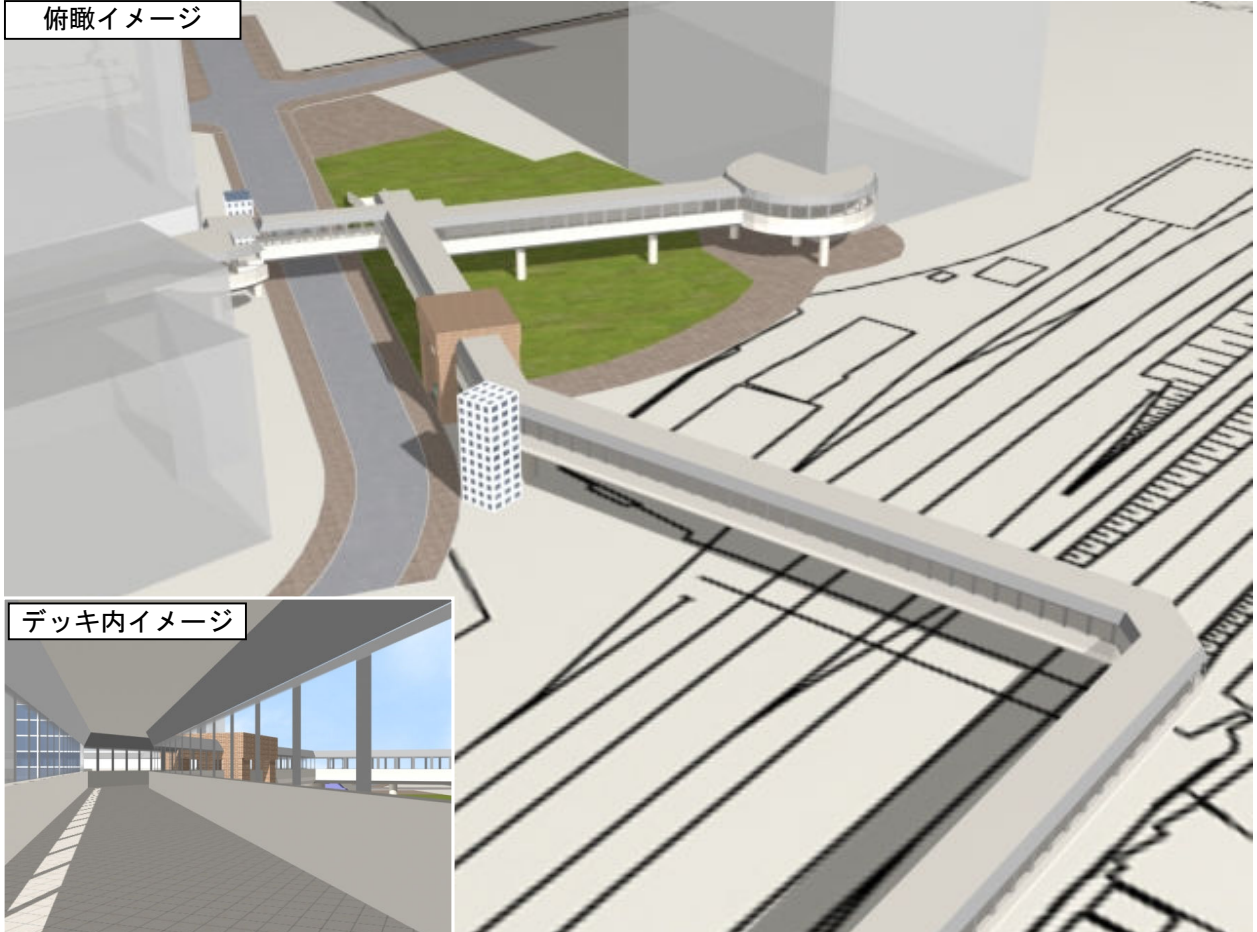
〈参考：弁天踏切歩道橋計画(案)〉

JR 東海道線を挟んで阪急高槻市駅方面への歩行者動線として、現在踏み切りによる横断構造を橋梁方式の立体横断施設とすることで利用者の安全性と利便性を確保する。

また、歩道橋から事業地内に設置される自由通路により、2階レベルでJR高槻駅まで行くことが可能となる。

バリアフリー化を図るために、エレベーターを南北に設ける。また、自転車利用も多いことから、歩行者はもちろん自転車等の軽車両が横断できる幅員(W=4m)を確保する計画とする。

俯瞰イメージ



デッキ内イメージ

